

令和 2 年（2020 年） 月 日

越谷市総合振興計画審議会

会 長 石崎 一宏 様

福祉・健康部会

部会長 深井 晃

福祉・健康部会審議結果について（報告）

福祉・健康部会は、第 5 次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）第 4 章・分野別計画のうち、大綱 2「みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり」について、慎重に審議した結果、概ね妥当であると判断し、下記のとおり主な意見をまとめ、報告いたします。

また、当部会で出された意見につきまして、別紙一覧のとおり併せて報告いたします。

記

- 1 地域福祉体制の充実に関して、地域福祉の中心的な役割を担う民生委員・児童委員と自治会との連携強化など、住民相互の助け合い・支え合いのさらなる推進に取り組むこと。
- 2 子どもの居場所づくりに関して、特に小中学生などに対し、公共施設の柔軟な運用・管理体制を整備するなどして、身近に安心して過ごせる場所を提供し、子どもの自主性・創造性を育む環境の充実を図ること。

3 障がい者（児）が安心して暮らせる環境づくりに関して、障がいのある人もない人も、幼少期から互いにふれあう機会を創出するなど、障がいへの理解を深める取組みの充実を図ること。

4 高齢者の生きがいづくりに関して、認知症予防につながる趣味やボランティア活動に参加できる身近な居場所の整備に取り組むこと。

認知症の人にやさしい地域づくりに関して、認知症についての理解を深めるため、小中学生などに対しても積極的な啓発に取り組むこと。

高齢者の就業に関して、意欲ある高齢者が就業できるよう、支援策のさらなる充実を図ること。

以 上

| No. | 大項目 | 中項目 | 頁 | 意見 |
|-----|-----|-----|----|--|
| 1 | 2-1 | | 35 | めざす姿に「行政による福祉サービスの充実と、住民相互の助け合い、支え合い活動の促進を両輪として…」とあるが、片輪を担う住民側は、意欲はあっても行動が伴わない現状がある。住民を動かすには行政側からの働きかけが不可欠である。 |
| 2 | 2-1 | | 35 | 地域でひとり暮らしの高齢者が増えており、自治会を辞めたいと言う方もいるが、そうした方こそ隣近所の見守りが必要であり、自治会に入っているべきだと伝えている。地域福祉の充実には、福祉に携わる人と自治会との連携が大切である。 |
| 3 | 2-1 | | 35 | 見守りと支え合いのある地域をつくるためには、自治会と民生委員・児童委員が情報を共有し合うなど連携をより深めていくことが大切である。 |
| 4 | 2-3 | | 44 | 達成指標「子育てサロン平均利用回数」については、今は働く母親が急増し、サロンの利用は土日が中心となり、平日の増加はほとんど見込めない。利用回数を増やすことより、内容の充実が大事だと思う。 |
| 5 | 2-3 | | 44 | 達成指標「子育てサロン平均利用回数」については、説明が難しい指標だということは理解しているが、誰が読んでも納得できるような表現にしてほしい。 |
| 6 | 2-3 | 232 | 45 | 不登校児については、初期の対応が非常に重要であり、学校内に不登校児が過ごせる居場所をつくってほしい。 |
| 7 | 2-3 | 233 | 46 | 学齢期の子どもたちが、気軽に悩みを話せて、友達と交流できるような居場所の充実が必要である。地区センターの子どもたちへの利用啓発や児童館の夜間開放など、既存の公共施設を活用し、子どもたちとその親が気軽に利用できる場所を整備してほしい。 |
| 8 | 2-3 | 233 | 46 | 乳幼児期の支援はあるが、小中高生への支援が足りない。越谷市の将来のためにも、子どもたちの自主性・創造性を育めるような環境の充実をお願いしたい。 |
| 9 | 2-4 | | 48 | 達成指標「差別や偏見を感じている人の割合」については、行政や教育機関などを含め、様々な場面で、障がい者に対する理解への働きかけを行わなければならない。 |
| 10 | 2-4 | | 48 | 障がいについては、子どもの頃からの日常的な触れ合いを通し、偏見や差別をなくす取組が大事だと思う。 |
| 11 | 2-5 | | 52 | めざす姿のなかに若者に関する記述がないが、例えば「中学生に対する認知症サポーター養成講座を全校で実施する」という指標であれば、越谷市は子どもたちの視点からも高齢者が住みやすいまちづくりを目指していると思う。 |
| 12 | 2-5 | 251 | 53 | 認知症の予防には、趣味やボランティアなどの生きがいを持ってもらうことが大切であり、高齢者のための居場所を身近に整備することが必要だと思う。 |

| No. | 大項目 | 中項目 | 頁 | 意見 |
|-----|-----|-----|----|--|
| 13 | 2-5 | 255 | 55 | 在宅医療の需要が増えているなかで、255の活動指標で特別養護老人ホームの床数を増やすという目標を掲げており、在宅重視の流れと整合が図れていない。 |
| 14 | 2-5 | 254 | 39 | 高齢者が地域包括支援センターなどの施設を活用するためには交通の利便性を高める方策についても計画に組み込んでほしい。また、災害時などにも、高齢者にも動いてもらう方法を計画に位置づけてほしい。 |
| 15 | 2-6 | 262 | 59 | 国民健康保険については越谷市発祥なので、市民の誇りとして、めざす姿の文章などに盛り込んでいただきたい。 |
| 16 | 2-6 | 263 | 60 | 高齢化と寿命の延伸で年金受給者は必ず増えるため、行政が「国民年金受給者数」を指標とすることには違和感がある。例えば、年金の手続きを支援し、受給者が増えることを目指すのであれば、この指標でも良いと思う。 |
| 17 | 2-6 | 263 | 60 | 80歳まで継続して働ける会社も出てきているので、働く意欲があれば働き続けられるという視点も入れれば良いと思う。 |